

試水内 かわら版

1977.6.9

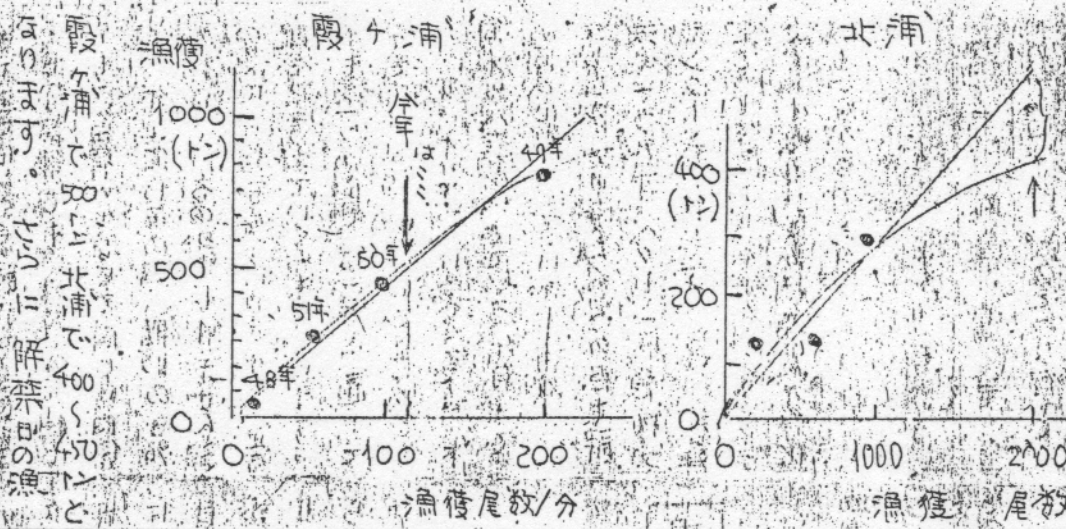
ワカサギの漁獲量を占う

解禁日の7月2日以前から今年もワカサギが見える、といわれておりましたが、試水でも試験結果を6月上旬から7月上旬の間に行いたる表の結果を得ました。

年	49	50	51	52
霞ヶ浦	204	96	54	109
北浦	107	616	904	251

- ◎ 1分間当りの漁獲尾数1時間相違をひいて上の数字に60をかけたものがいられる。
- ◎ 北浦で年々増加しているのはなぜか、ある人は霞ヶ浦のものが北浦へ行くといふ。

図に示す今年試験結果の結果の10と20を横軸上に示す。漁獲量(尾)を縦軸上に示す。



試水状況は考慮すると今年も漁獲量として900トンといふ数字が得られましたが、当りもハツケ、当りぬもハツケ、

霞ヶ浦の水質に与える影響が問題となっています。解決の方法の一つとして霞ヶ浦と一宮湖間の外から飼料を持ちこみます。一宮湖の中は飼料を依ることが考えられていました。また、湖内の有機物をユイととして取り出すこと、霞ヶ浦の水質浄化に努めるもの、考えられておりました。これらから水産三つで霞ヶ浦全体を考える上、非常

出島漁協養殖部 飼料製造を開始

大なる期待が、この事業によせられていたのです。しかし、まじう、始つてのことでもあり、仕入れ、配合、造型、魚の確保、年数々の難題がありました。シムは、出島漁協水産事務所の努力で解決し、事業は順調に連んであります。当水試でも、この飼料について種々の検討を行つてあり、よりよい飼料の作成にとりかかっています。この程、一宮湖の飼育試験結果がまとまりました。

	対照	玄島1	玄島2
始りの総重量	51.4kg	53.2kg	53.3kg
始りの尾数	167	178	172
始りの体重	307.8g	298.9g	310.0g
試験の総重量	730kg	719kg	743kg
試験の尾数	167	175	172
試験の体重	4371g	4109g	4320g
増肉率	324.3%	304.7%	32.2%
増肉係数	1.52	1.53	1.55

- ◎ 対照 市販配合飼料
- ◎ 玄島飼料 蛋白 40% 脂肪 8%



